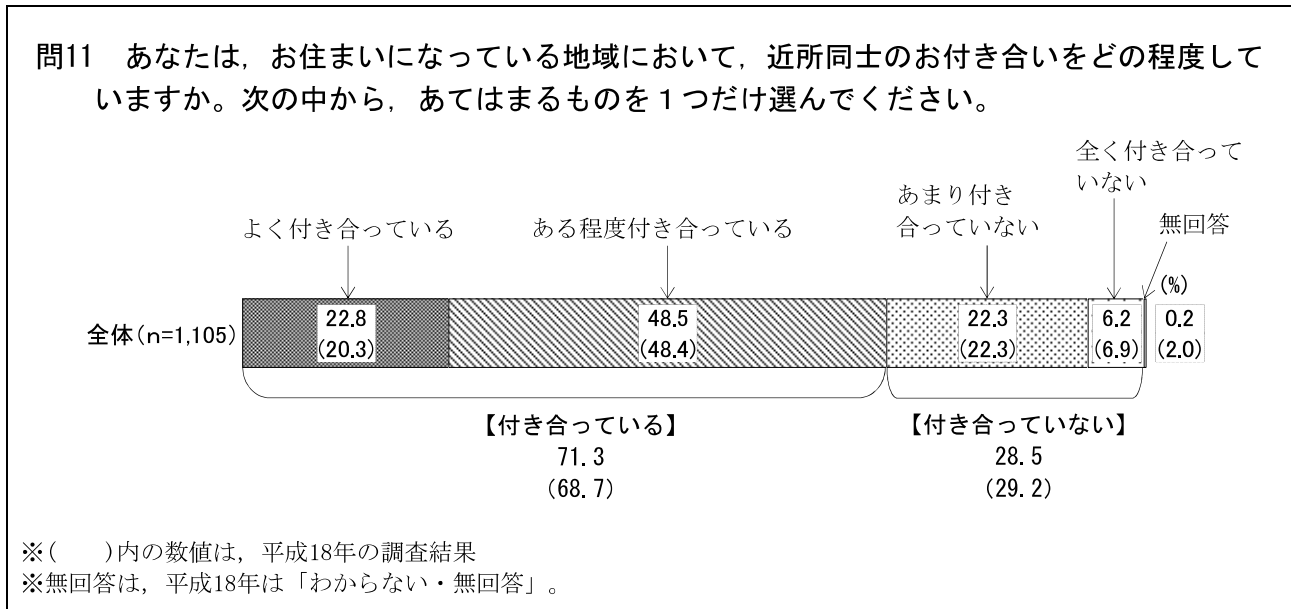


V 地域との関わり

1. 近所付き合い

(1) 近所づきあいの程度

－【付き合っている】が7割超－



近所のづきあいの程度としては、「よく付き合っている」(22.8%)と「ある程度付き合っている」(48.5%)を合わせた【付き合っている】(71.3%)が7割を超えている。一方、「あまり付き合っていない」(22.3%)と「全く付き合っていない」(6.2%)を合わせた【付き合っていない】(28.5%)は約3割となっている。

－【付き合っている】が約3ポイント増加－

前回調査(平成18年)と比べると、【付き合っている】は約3ポイント増加している。

－県西と鹿行で「よく付き合っている」が約3割－

地域別でみると、「よく付き合っている」は、県西(29.5%)と鹿行(29.1%)で約3割と高くなっている。

－男女ともに60代と70歳以上で【付き合っている】が8割台－

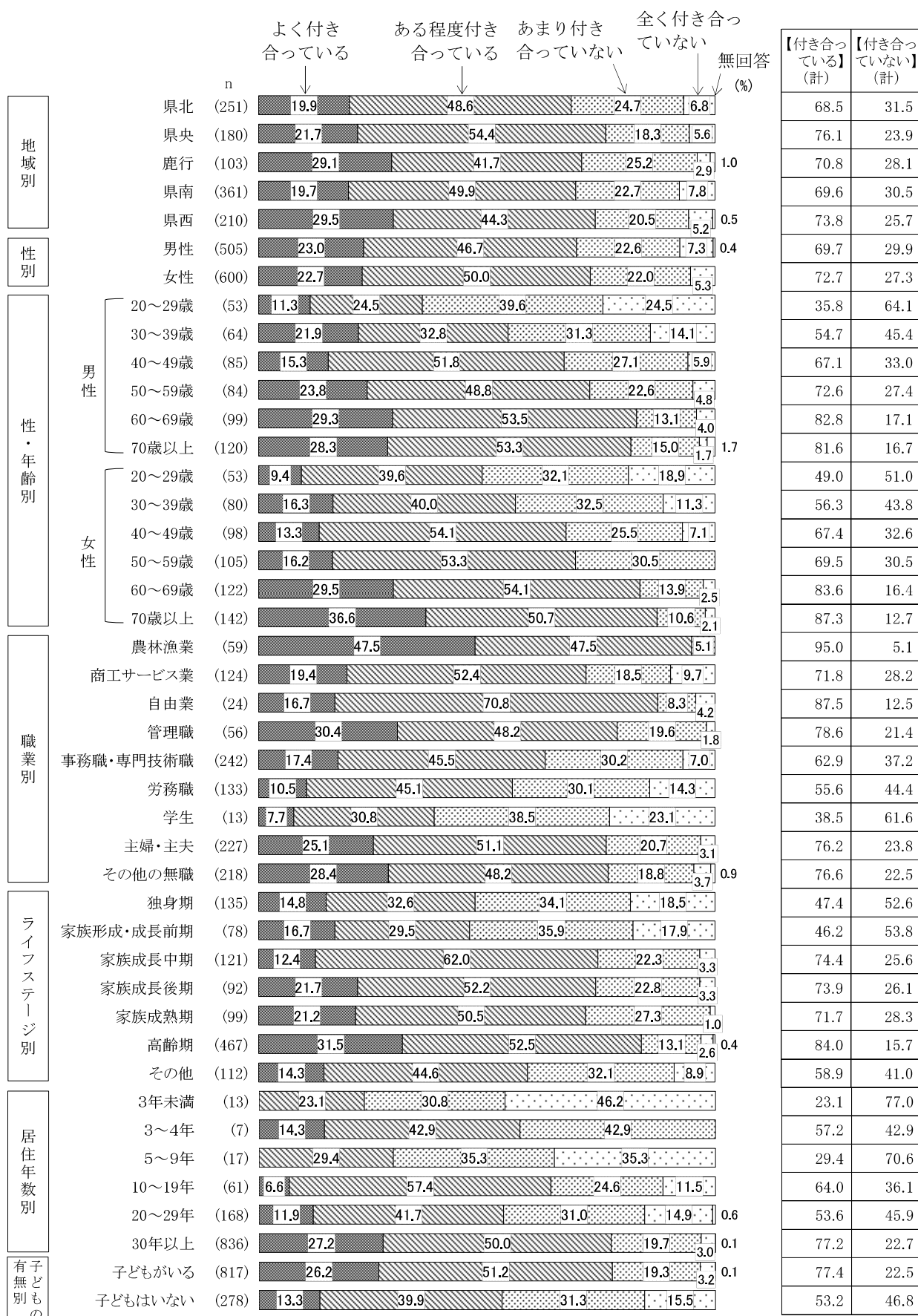
性・年齢別でみると、【付き合っている】は、男性の60代(82.8%)、70歳以上(81.6%)、女性の60代(83.6%)、70歳以上(87.3%)で8割台と高くなっている。

－農林漁業で【付き合っている】が9割台半ば－

職業別でみると、【付き合っている】は、農林漁業(95.0%)で9割台半ばと最も高くなっている。

図V 11-1 近所づきあいの程度

(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別、居住年数別、子どもの有無別)

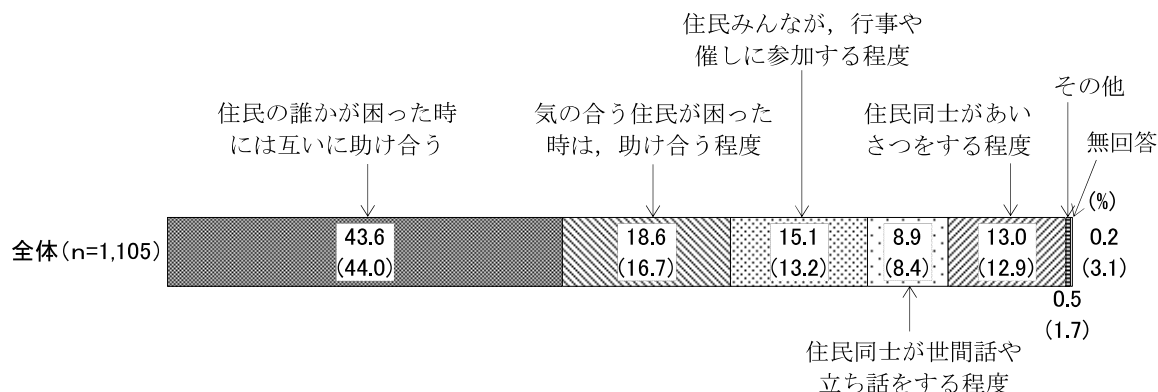


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(2) 地域、近所の望ましい付き合いの程度

－「住民の誰かが困った時には互いに助け合う」が4割台半ば－

問12 あなたは、地域やご近所でのお付き合いはどの程度が望ましいと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成18年の調査結果

※「その他」の平成18年の数値は「その他」と「付き合いは必要ない」を合算した。

※無回答は、平成18年は「わからない・無回答」。

地域、近所の望ましい付き合いの程度としては、「住民の誰かが困った時には互いに助け合う」(43.6%)が4割台半ばと最も高く、次いで、「気の合う住民が困った時は、助け合う程度」(18.6%)、「住民みんなが、行事や催しに参加する程度」(15.1%)、「住民同士があいさつをする程度」(13.0%)が1割台で続いている。

－特に大きな増減はない－

前回調査(平成18年)と比べると、特に大きな差はみられない。

－県西で「住民の誰かが困った時には互いに助け合う」が5割超－

地域別でみると、「住民の誰かが困った時には互いに助け合う」は、県西(52.9%)で5割を超えて最も高くなっている。

－女性で「住民の誰かが困った時には互いに助け合う」が男性よりも約6ポイント高い－

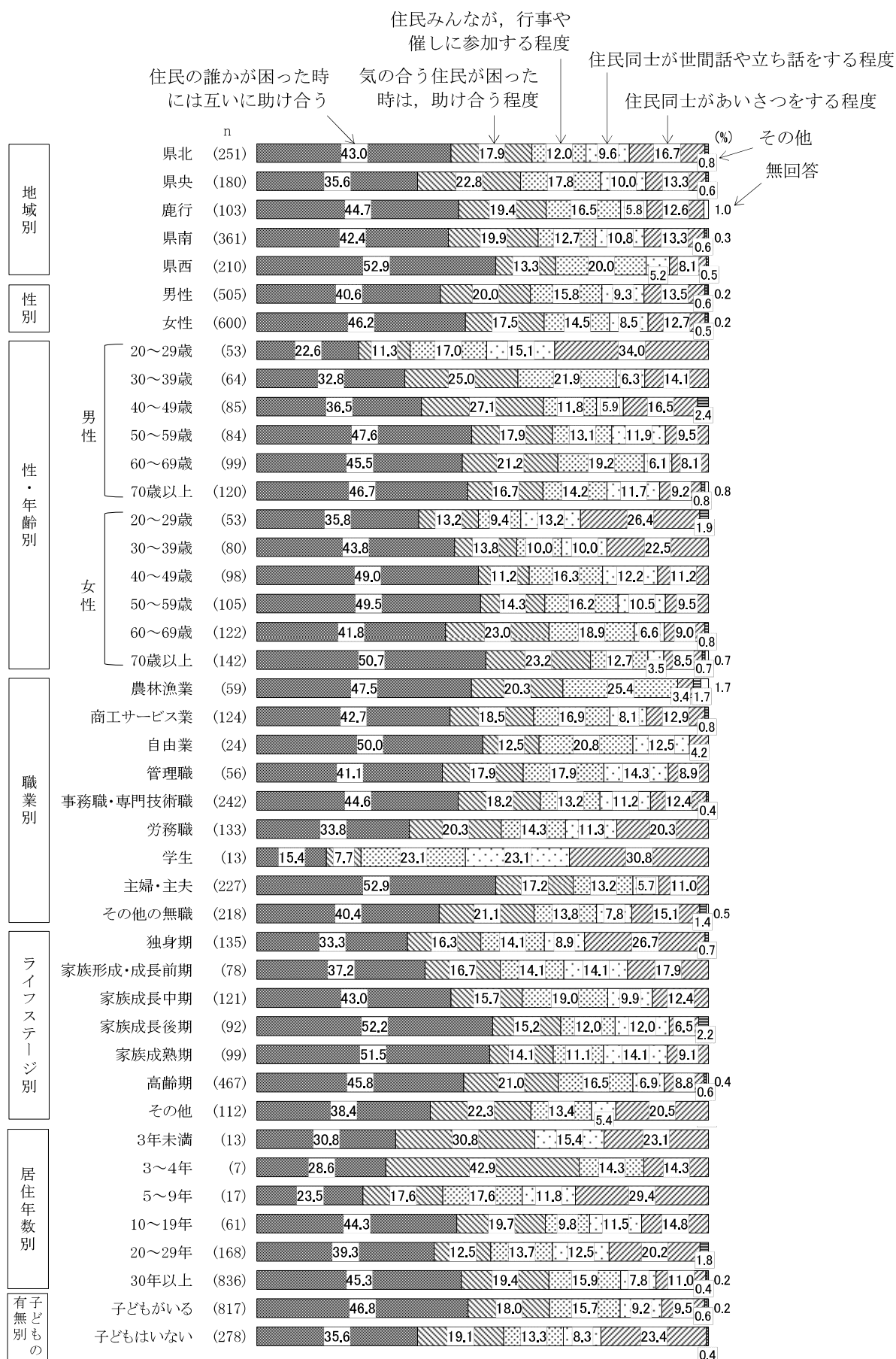
性別でみると、「住民の誰かが困った時には互いに助け合う」は、女性(46.2%)が男性(40.6%)よりも約6ポイント高くなっている。

－男性の20代で「住民同士があいさつをする程度」が3割台半ば－

性・年齢別でみると、「住民同士があいさつをする程度」は、男性の20代(34.0%)で3割台半ばと最も高く、女性の20代(26.4%)でも2割台半ばと高くなっている。

図V 12-1 地域、近所の望ましい付き合いの程度

(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別、居住年数別、子どもの有無別)

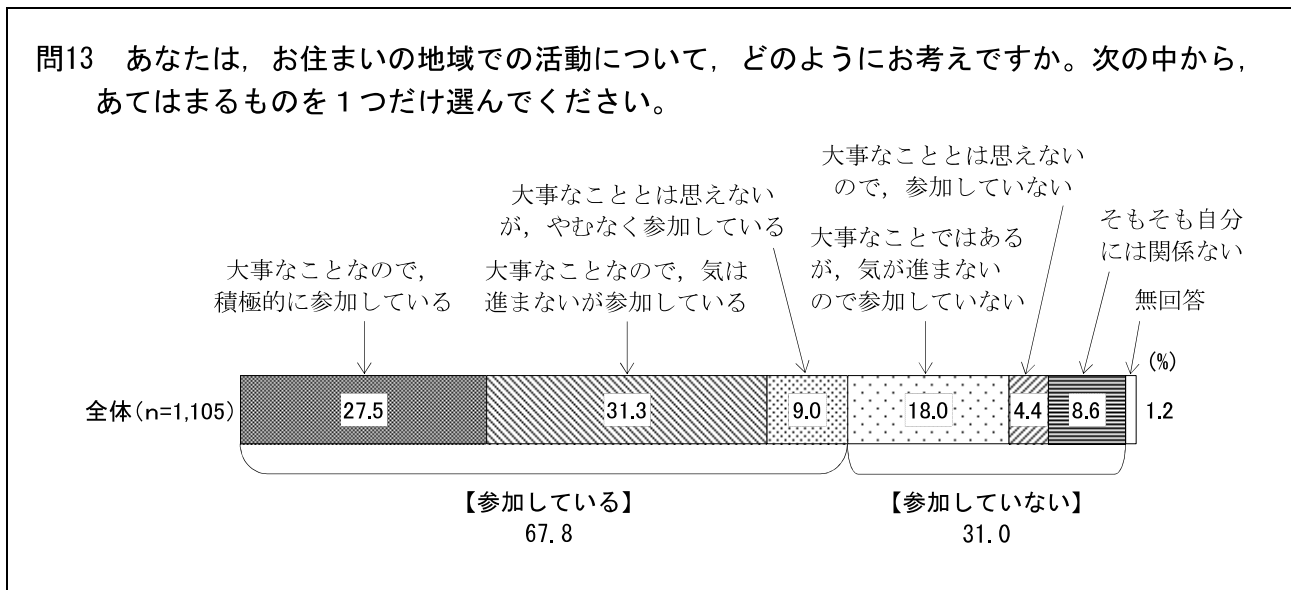


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

2. 地域活動

(1) 地域活動への参加の有無

－【参加している】が約7割－



地域活動への参加の有無としては、「大事なことなので、積極的に参加している」(27.5%)、「大事なことなので、気は進まないが参加している」(31.3%)、「大事なこととは思えないが、やむなく参加している」(9.0%)を合わせた【参加している】(67.8%)が約7割となっている。一方、「大事なことではあるが、気が進まないので参加していない」(18.0%)、「大事なこととは思えないので、参加していない」(4.4%)、「そもそも自分には関係ない」(8.6%)を合わせた【参加していない】(31.0%)は3割を超えている。

－県西で【参加している】が7割台半ば－

地域別でみると、【参加している】は、県西(76.2%)で7割台半ばと最も高くなっている。

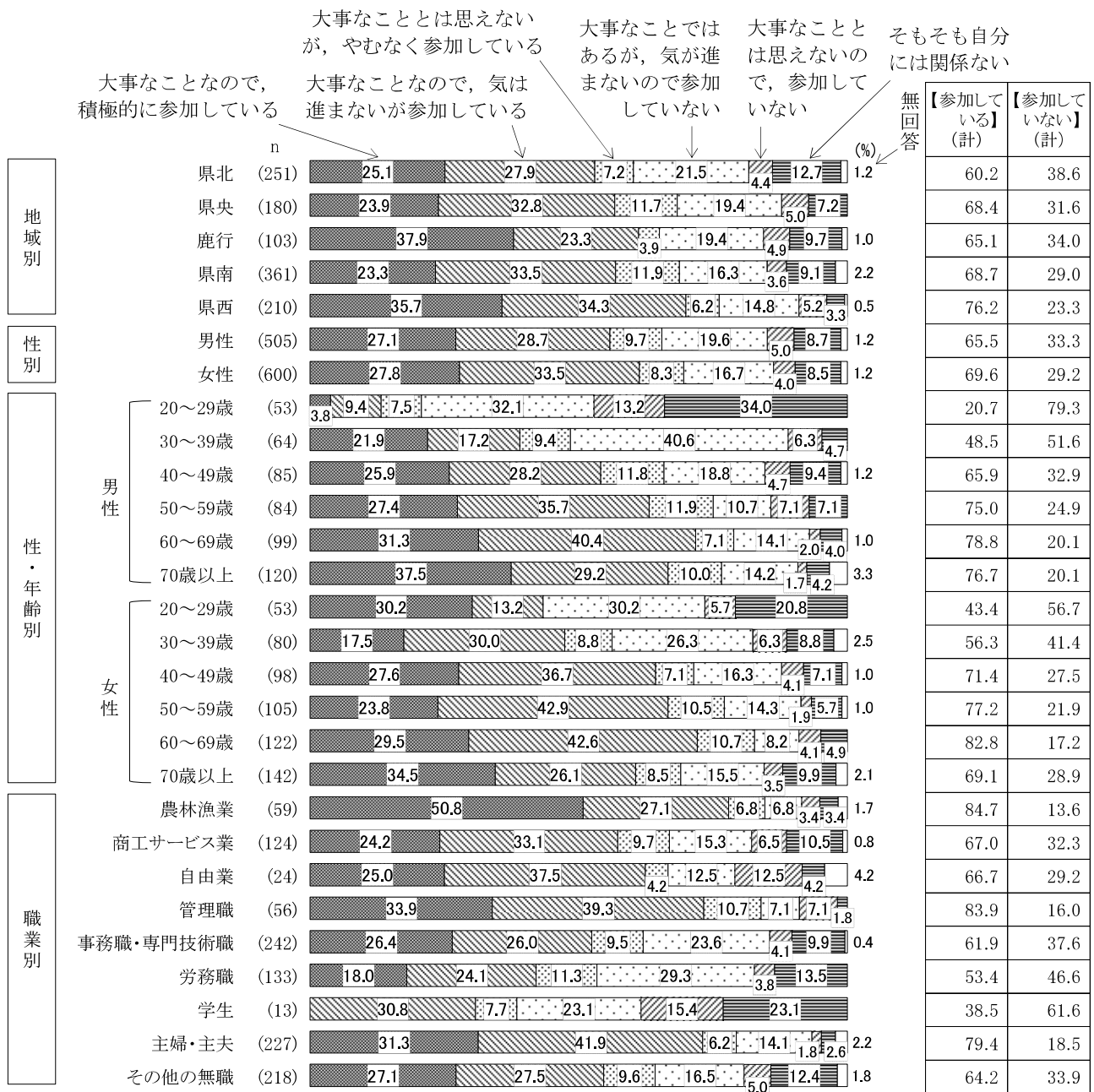
－女性の60代で【参加している】が8割超－

性・年齢別でみると、【参加している】は、女性の60代(82.8%)で8割を超えて最も高くなっている。

－男性の60代と女性の50代で【参加している】が約8割－

性・年齢別でみると、【参加している】は、男性の60代(78.8%)と女性の50代(77.2%)で約8割と高くなっている。

図V 13-1 地域活動への参加の有無
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



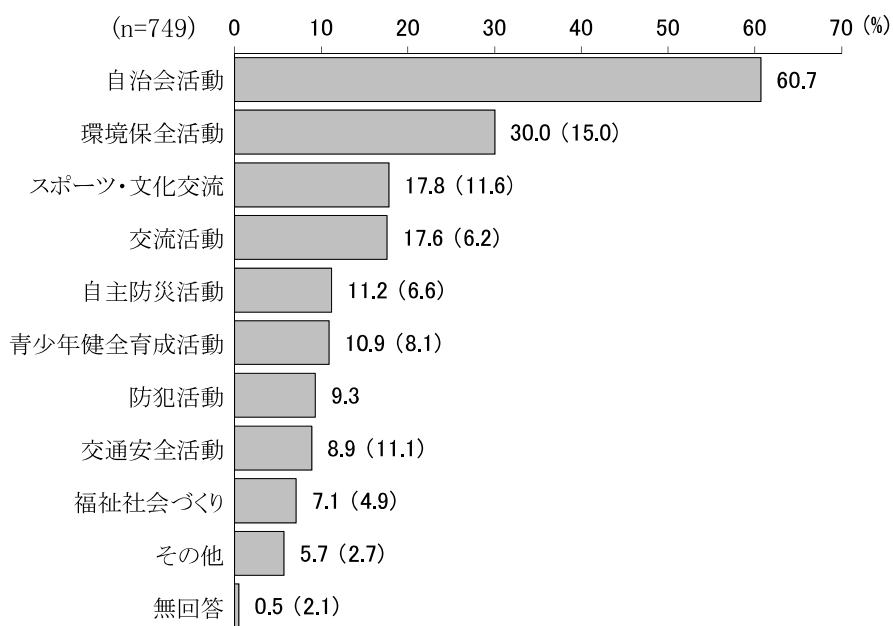
(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(2) 参加した地域活動の内容

－「自治会活動」が約6割－

(問13で「1 大事なことなので、積極的に参加している」、「2 大事なことなので、気は進まないが参加している」、「3 大事なこととは思えないが、やむなく参加している」と回答した方のみ)

問13-1 あなたは、お住まいの地域で、この1年間にどのような活動をしていますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成21年の調査結果

※平成21年は全員に聞いたため、「活動していない」が59.6%だった。

※「自治会活動」、「防犯活動」は、平成21年では選択肢になし。

※無回答は、平成21年は「わからない・無回答」。

地域活動に【参加している】と回答した方に、参加した地域活動の内容を聞いたところ、「自治会活動」(60.7%)が約6割と最も高く、次いで、「環境保全活動」(30.0%)が3割で続いている。

－「環境保全活動」は前回、今回ともに高い－

前回調査(昨年)では全員に対して聞いており、また活動期間を1年間に限定していなかったため、比率ではなく順位についてふれることとする。「環境保全活動」と「スポーツ・文化交流」の順位は変わっていないが、前回調査で3位の「交通安全活動」は今回調査では下位となっている。

－県央で「環境保全活動」が約4割－

地域別で見ると、「環境保全活動」は、県央(40.7%)で約4割と最も高くなっている。

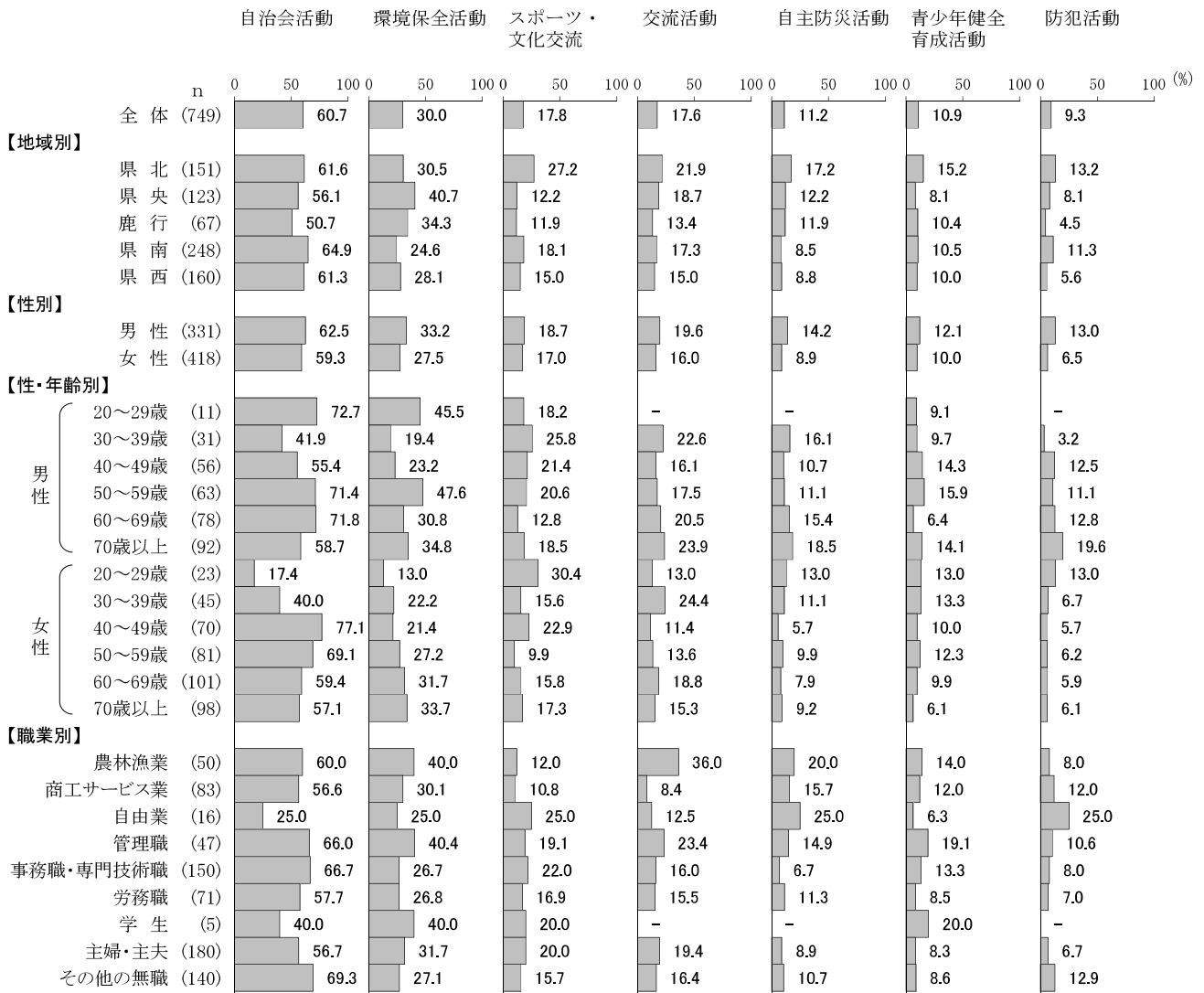
－男性で「環境保全活動」が女性よりも約6ポイント高い－

性別で見ると、「環境保全活動」は、男性(33.2%)が女性(27.5%)よりも約6ポイント高くなっている。

一男性の50代，60代，女性の40代で「自治会活動」が7割台一

性・年齢別でみると，「自治会活動」は，男性の50代（71.4%），60代（71.8%），女性の40代（77.1%）で7割台と高くなっている。

図V 13-1-1 参加した地域活動の内容
(地域別，性別，性・年齢別，職業別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

表V 13-1-1 参加した地域活動の内容
(前回調査との比較—上位5項目)

(単位：%)

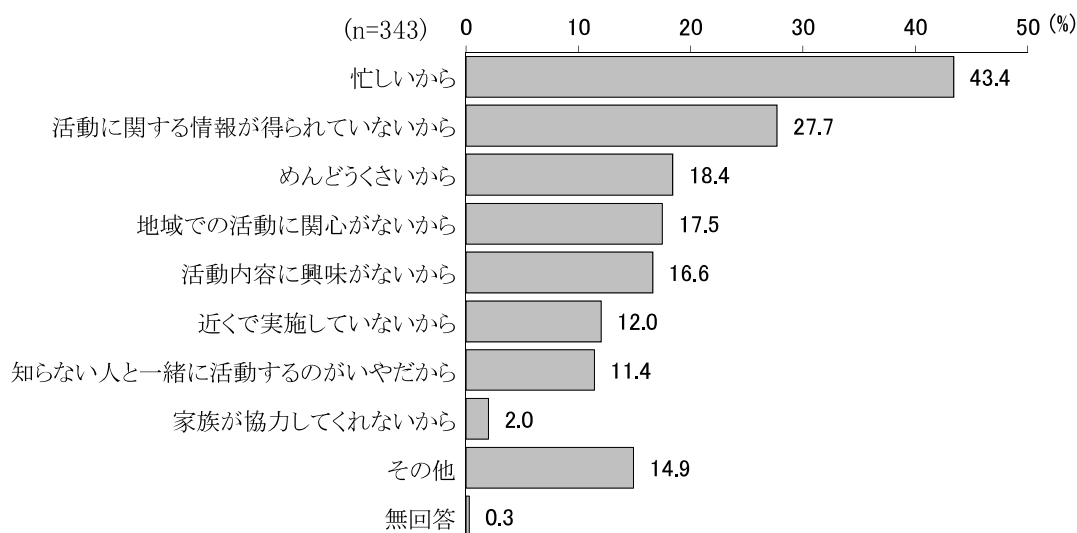
	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H27)	自治会活動	環境保全活動	スポーツ・文化交流	交流活動	自主防災活動
n=749	60.7	30.0	17.8	17.6	11.2
前回調査 (H21)	環境保全活動 (一斉清掃を除く，ゴミの少量化 や道路の清掃など)	スポーツ・文化交流 (地域文化や歴史の学習，スポーツ 大会の開催など)	交通安全活動 (子どもの登下校 時の見守りなど)	青少年育成活動 (子ども会活動， 有害看板の撤去など)	自主防災活動 (町内パトロール など)
n=1,110	15.0	11.6	11.1	8.1	6.6

(3) 地域活動に参加していない理由

－「忙しいから」が4割台半ば－

(問13で「4 大事なことではあるが、気が進まないので参加していない」, 「5 大事なことは思えないので、参加していない」, 「6 そもそも自分には関係ない」と回答した方のみ)

問13-2 現在、お住まいの地域での活動をしていない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。



地域活動に【参加していない】と回答した方に、地域活動に参加していない理由を聞いたところ、「忙しいから」(43.4%)が4割台半ばと最も高く、次いで、「活動に関する情報が得られていないから」(27.7%)が2割台で続いている。

－県西で「忙しいから」が約5割－

地域別でみると、「忙しいから」は、県西(49.0%)で約5割と最も高くなっている。

－鹿行で「活動に関する情報が得られていないから」が3割台半ば－

地域別でみると、「活動に関する情報が得られていないから」は、鹿行(34.3%)で3割台半ばと最も高くなっている。

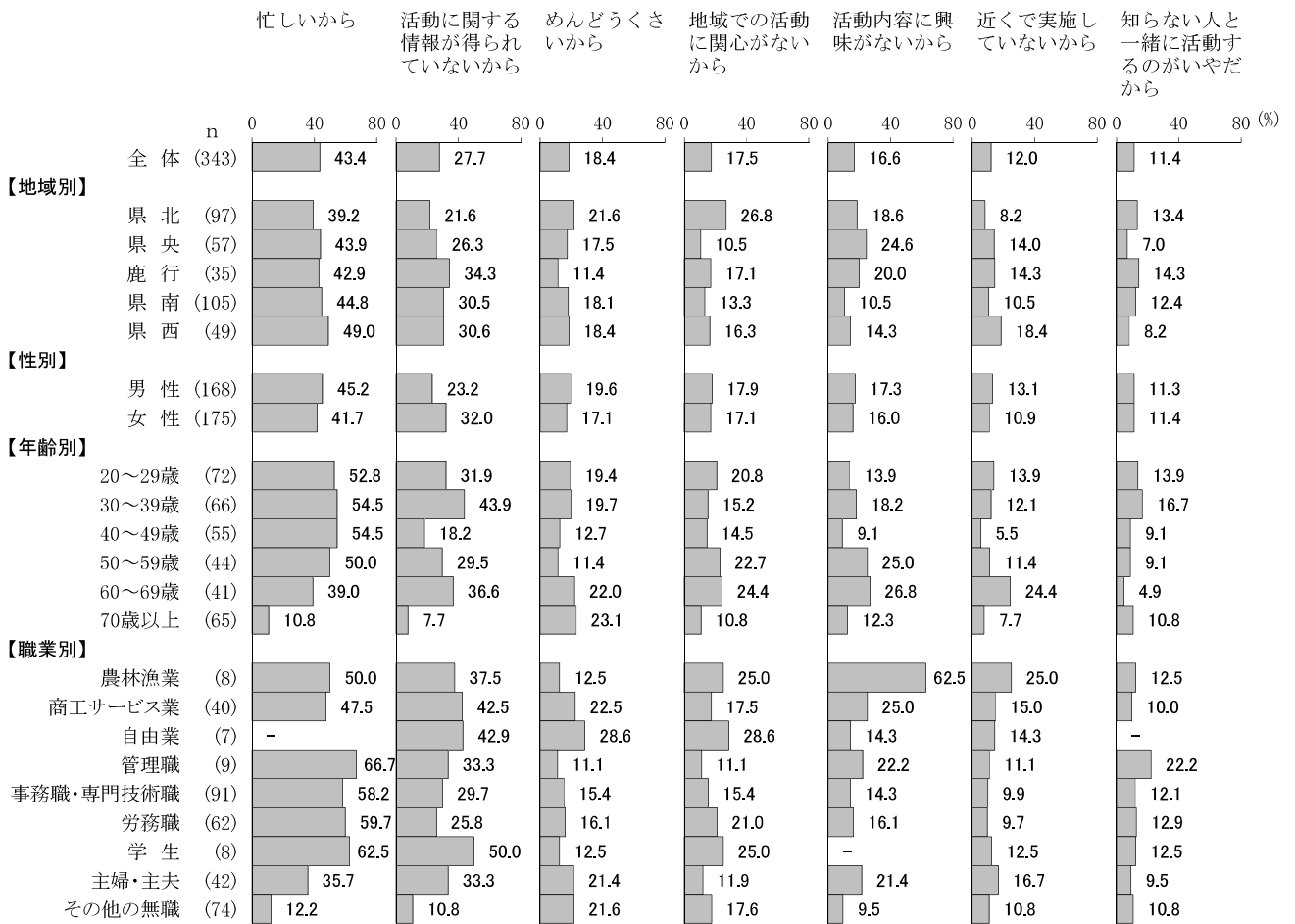
－女性で「活動に関する情報が得られていないから」が男性よりも約9ポイント高い－

性別でみると、「活動に関する情報が得られていないから」は、女性(32.0%)が男性(23.2%)よりも約9ポイント高くなっている。

－30代と40代で「忙しいから」が5割台半ば－

年齢別でみると、「忙しいから」は、30代と40代(それぞれ54.5%)で5割台半ばと高くなっている。

図V 13-2-1 地域活動に参加していない理由
(地域別, 性別, 年齢別, 職業別—上位7項目)

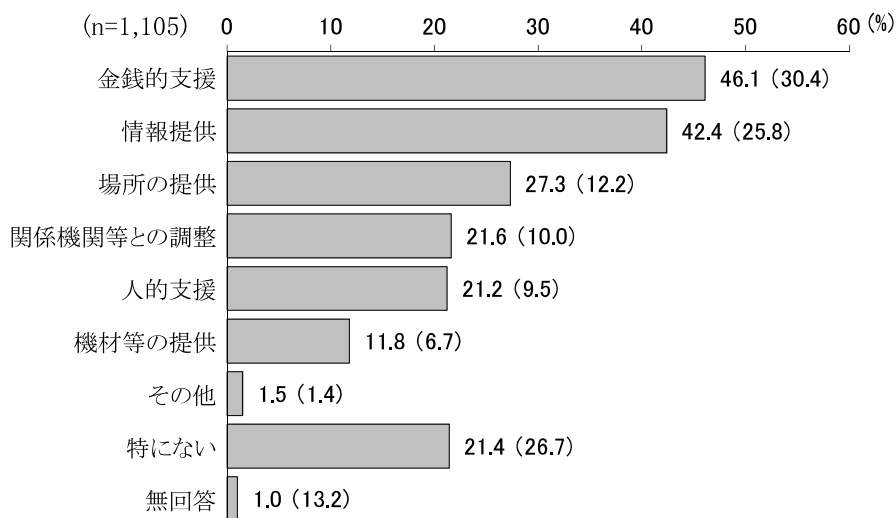


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(4) 地域活動に必要な行政の支援

－「金銭的支援」が4割台半ば－

問14 地域の活動を進めるうえで、行政（県や市町村）に支援を求めたいことを、次の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。



※()内の数値は、平成21年の調査結果
※平成21年は行政に協力してほしいこと
※平成21年はあてはまるものをすべて選択。
※無回答は、平成21年では「わからない・無回答」。

地域活動に必要な行政の支援としては、「金銭的支援」（46.1%）が4割台半ばと最も高く、次いで、「情報提供」（42.4%）が4割台、「場所の提供」（27.3%）が約3割が続いている。

－順位は前回調査から変化なし－

前回調査（平成21年）とは設問文の一部及び回答できる個数が異なることから、比率でなく順位についてふれることとする。今回調査では、前回調査と同じ順位となっている。

－県西で「金銭的支援」と「情報提供」が5割台前半－

地域別でみると、「金銭的支援」は、県西（54.8%）で5割台半ばと最も高くなっている。また、「情報提供」も県西（51.4%）で5割を超えて最も高くなっている。

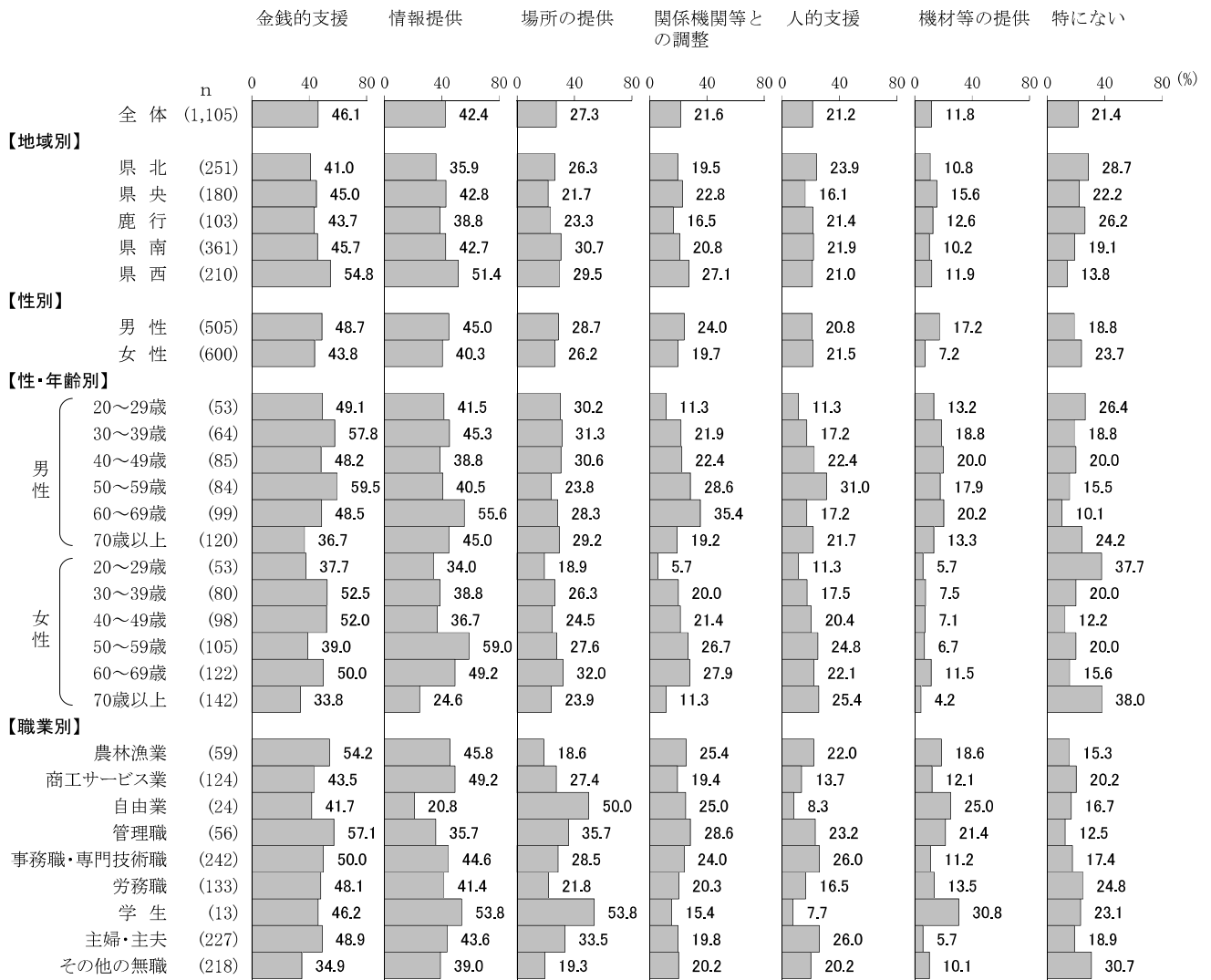
－男性の30代と50代で「金銭的支援」が約6割－

性・年齢別でみると、「金銭的支援」は、男性の30代（57.8%）と50代（59.5%）で約6割と高くなっている。

－男性の60代と女性の50代で「情報提供」が5割台後半－

性・年齢別でみると、「情報提供」は、男性の60代（55.6%）と女性の50代（59.0%）で5割台後半と高くなっている。

図 V 14-1 地域活動に必要な行政の支援
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

表 V 14-1 地域活動に必要な行政の支援
(前回調査との比較—上位5項目)

(単位: %)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H27)	金銭的支援	情報提供	場所の提供	関係機関等との調整	人的支援
n=1,105	46.1	42.4	27.3	21.6	21.2
前回調査 (H21)	金銭的な支援	情報の提供	きっかけづくり	場所(会議室, 施設等)の提供	関係機関等との調整
n=1,110	30.4	25.8	15.9	12.2	10.0